

## 各施設のあり方に関する意見 (幸町地区総合整備検討有識者会議第2回会議での意見要約)

### ◇幸町地区に求める機能，新たに追加する機能

#### ▶各委員からの意見・提案を踏まえた総括

- それぞれの場所に対して，役割を持たせていくことが重要
- 文化ホールや芸術に興味を持つ一歩手前の入り口になるような場所
  - ・音楽と芸術が一緒に入る場所（文化的な活動の発表の場）としてのホール機能
  - ・桜松館で音楽会やバレエなどに興味をもつ一歩手前の方でも見られる場所としての機能
  - ・美術館と桜松館は，演劇・音楽を含めた発表の場としての機能
  - ・美術館にはホールがないので，今の美術館と桜松館が合体したようなものがあれば機能的に確保できる
- 高校生や10代の方のための空間，スポーツ関連の場所，地域性を考慮した機能
  - ・文化とスポーツの場所
  - ・美術館の中にスポーツのため（着替えや休憩）の施設
  - ・呉ならではの産業を紹介し，ワークショップや販売などができる場所
  - ・町のコンシェルジュ，地域と連携する場所
  - ・街歩きの拠点
  - ・普段は行かないが，呉にはこれがあるというような市ならではの土地の記憶を生かした施設
  - ・青山クラブ・桜松館は歴史を伝える出発点としての機能

### ◇その他の主な意見

- 青山集会所があったときの状態に機能を戻し，青山クラブに宿や飲食の機能を入れる
- 「この世界の片隅に」との連携
- 青山クラブに美術館機能をすべて移設する案もある
- 各施設の役割をはっきりさせた上で，カフェやスタジオのような機能があってもよい
- 交通ターミナル，結節点が必要
- ユースセンターのような場所
- 青山クラブがハブ的な役割ができれば良い
- 美術館は，美術を展示するだけの機能ではなくものづくりをしていく場所
- サイクリング者のための結節点としての機能
- 美術館に求められる新しい機能として，カフェなど休憩する場所立ち寄る場所